

名 称 (英文字等の表記)	鹿児島日独協会 Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kagoshima	
所在地等	住 所	〒 890-0065 鹿児島市郡元1-21-30 鹿児島大学法文学部 法経社会学科 中島(大)研究室
	T E L	099-285-8895(中島研究室)
	F A X	099-285-8882(事務室)
	E -mail	nakajima@leh.kagoshima-u.ac.jp
	H P	
	facebook	https://www.facebook.com/鹿児島日独協会-1358109998634640/
設立年月日	1971年 5月 24日	
設立目的	鹿児島においてドイツ語圏の社会や文化に関心を持つ人々が、定期的な例会(講演会等)や勉強会、パネル展等の催しを通じて、日本とドイツ語圏の関係や交流、社会や文化について理解を深めるとともに、互いに情報を交換し、親睦をはかることを目的とする。	
代表者	会 長: 出雲 周二	
事務局担当者	中島 大輔	
会員数	98人(法人1、個人97名)	
会費等	入会金	なし
	会費	一般:3,000円(同一世帯の会員は2人目は1,000円、3人目以降は無料) 学生:1,000円 外国人留学生:無料 維持会員:1口10,000円(1口以上)
役員数	16人	
職員数	なし	
定期刊行物	なし	
国際交流・協力 に関係する過去 5年間の具体的な 活動内容	<p>【定例】 例会開催(講演会(年2回)、クリスマス例会(年1回)、サロンコンサート(年1回))、ドイツ語圏の社会と文化に関するパネル展の開催(不定期)。外国人の日本語弁論大会、クラシックコンサート・リサイタル、鹿児島オクトーバーフェストの後援等。</p> <p>【不定期】 鹿児島日独協会創立50周年記念コンサート&講演会: 室内楽コンサート(ドイツ三大作曲家) 講演会 野口芳子「幕末にヤコブ・グリムを訪問した日本人—鹿児島とグリム兄弟をつなぐもの—」(2021年4月)</p> <p>【特別講演会】 ・大阪・神戸ドイツ連邦共和国マルティン・エバーツ総領事講演会「ドイツのエネルギースフトとウクライナ戦争の影響」(2022年6月) ・大阪・神戸ドイツ連邦共和国ヴェルナー・ケーラー総領事および互理信雄「ベルリンの壁崩壊30周年」(2019年10月) ・西谷誠「リトアニアの杉原千畝記念館を修復して—塗魂インターナショナルの海外ボランティア活動—」(2018年6月) 〔パネル展(鹿児島大学との共催)〕 ・「ドイツ深掘りマンガ大賞」パネル展(2022年10月) ・「ベルリンの壁崩壊30周年パネル展」(2019年10月) ・「子どもの教育と人権の父コルチャック」展(2019年7月) ・「暗やみに光を灯した人 杉原千畝」(2018年5月)</p> <p>〔各地の日独協会、独日協会との交流〕 ・北九州日独協会との交流(2019年より)</p>	
関係の深い 国・地 域	ドイツ連邦共和国, オーストリア連邦共和国、スイス連邦	
メッセー ジ	上記以外の活動は今のところ予定しておりません。	